

## 屈折はしご付消防自動車



屈折はしご付消防自動車は、佐倉消防署へ配置されていたはしご付消防自動車の更新車両となり、千葉県消防広域応援隊登録車両となります。

最新式の消防専用シャーシに、油圧駆動による3連1節伸縮屈折はしご、固定式バスケット装置及びその駆動装置安全諸装置等を装備し、車両後部中継口からバスケット放水銃までの放水が迅速に行えるよう伸縮水路管を装備した車両となります。

3連1節伸縮屈折はしごにより優れた機動性を有し、電線などの障害物を避けての消火、救助活動が可能であり中高層建物火災をはじめ各種災害で運用します。

※第1塔部分に表示されている「Snorkel Ladder (スノーケルラダー)」とは、屈折はしご車の意味を表しています。

# 屈折はしご付消防自動車の概要

## 1 車両外観



前面

救助用支点 (パウシャックル・  
許容重量2000kg)



左側面



後面



右側面



車両上部



対空表示



## 2 主要装置

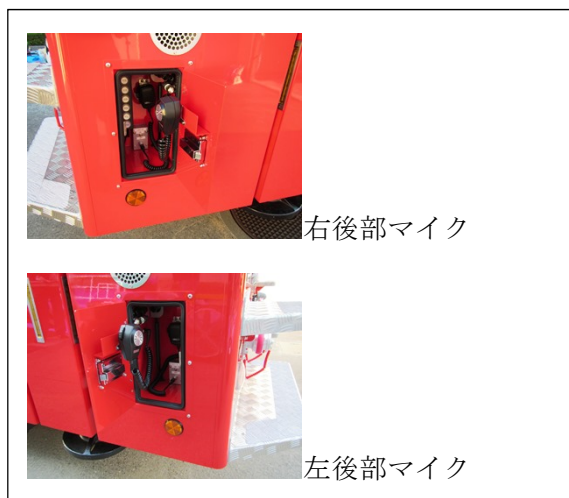
### (1) 照明装置

各ドア、ステップ、アウトリガー、バスケット等に、夜間の視認性向上のためLED照明を設置し、塔体一段目にリモコン式LED（150W×2）を設置している。



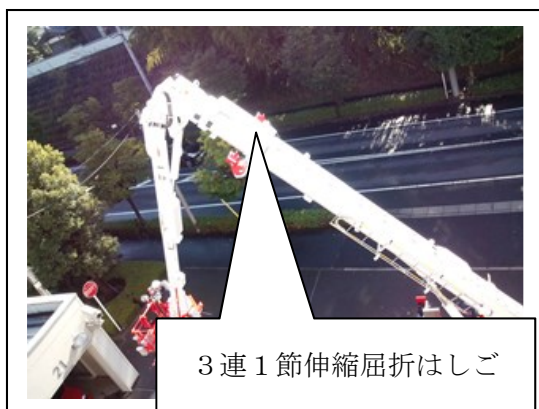
### (2) 消防無線電話装置及び警報装置等

電子サイレン（拡声装置付き）、消防無線電話装置、音声合成装置、水準器等をセンターコンソールに設置している。また、車両後部マイク、ワイヤレスマイクにより操作中の拡声が可能である。



### (3) 屈折はしご装置等

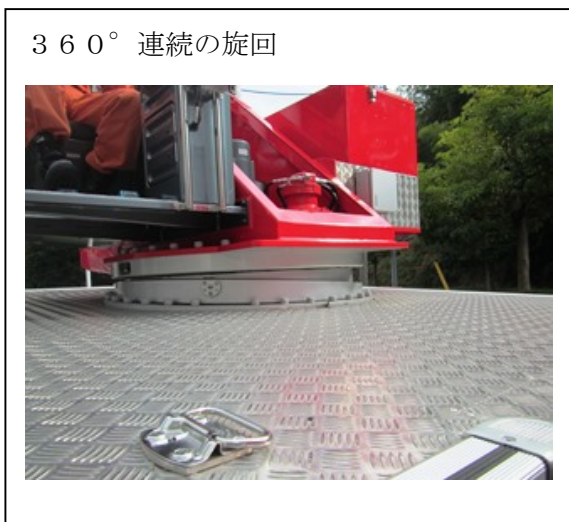
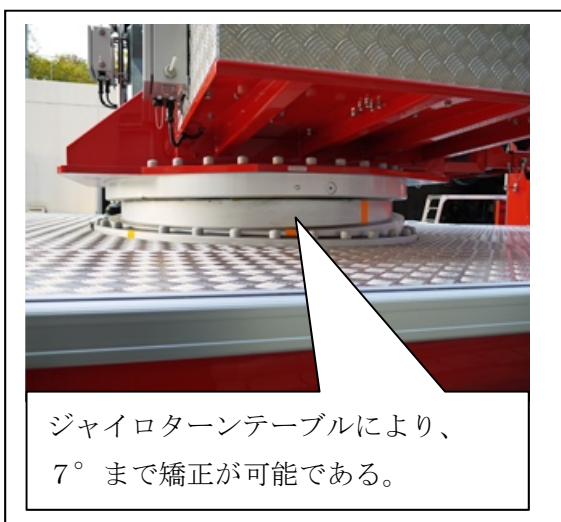
ア 屈折はしご装置（3連1節伸縮屈折はしご）



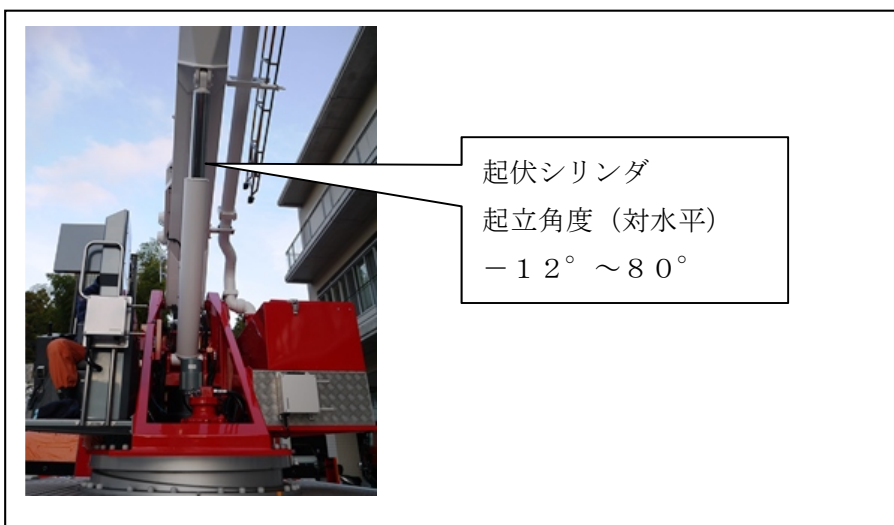
イ アウトリガー・ジャッキ装置（車両支持装置）



ウ 自動傾斜矯正装置（ジャイロターンテーブル式）及び旋回装置



エ 起伏装置





## オ 屈折装置



## カ 操作装置

基部操作装置



バスケット操作装置



## キ 基部操作部

操作台



屈折はしご姿勢表示モニター

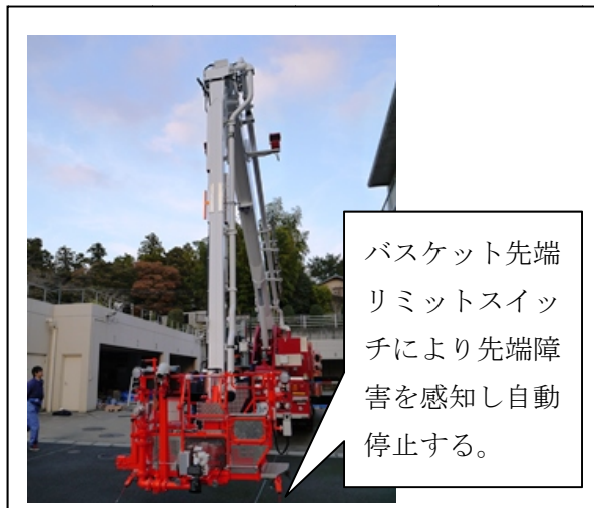


## ク 水路装置

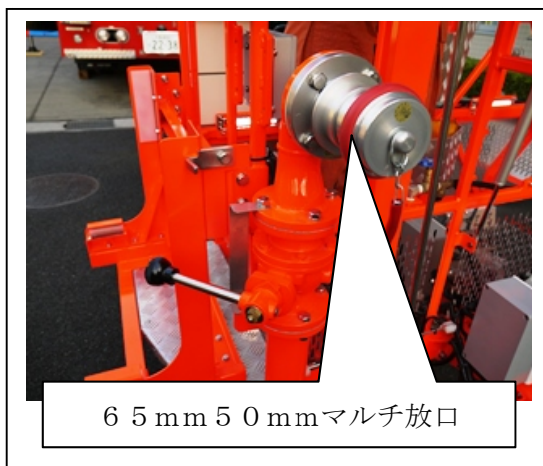


## (4) バスケット装置

- ア バスケット装置（許容荷重約270kg）及びバスケット首振装置  
バスケット平衡装置を備え、起伏・屈折操作に合わせ常に平衡状態を保っている。



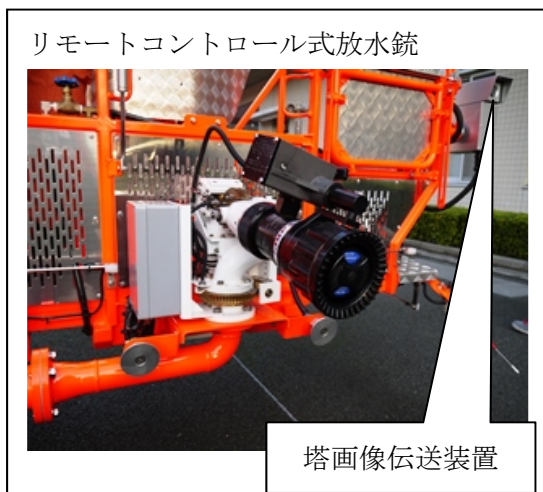
## イ バスケット放口（屋内進入用）





ウ リモートコントロール式放水銃及び塔画像伝送装置

バスケット内から放水銃の操作が可能である。また、塔画像伝送装置により、基部操作部で画像を確認しながら架梯、リモートコントロールによる放水が可能である。



エ 送排風機 (テンペストブローア)

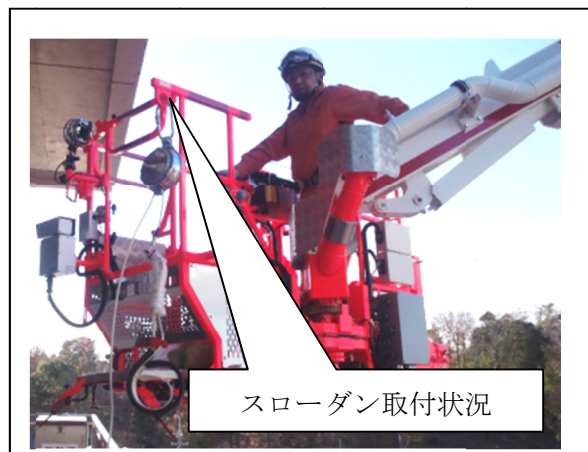
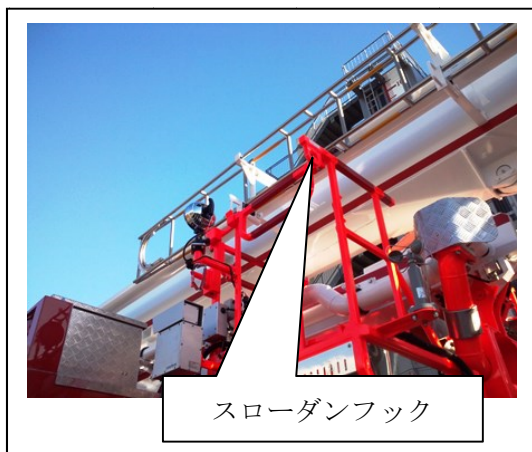


オ ストレッチャ取付装置

ストレッチャブラケットにより、専用ストレッチャをバスケットへ装着可能。



カ スローダンフック（許容荷重約90kg）※スローダン（緩降機3～30m）



※ スローダン（緩降機）とは、使用者の自重で自動的に降下できる機構（遠心力ブレーキを作動させて降下速度を制御するもの。）を持つため、使用者の体重に応じた等速度にて「つるべ式」に何人でも安全に避難できる避難器具です。